

使える英語プロジェクト NEWS

(第17号)



平成25年度「使える英語プロジェクト」フォーラム



言葉の力を育むために

本年度の第1回目の「使える英語プロジェクトフォーラム」を5月27日(月)、東大阪市市民会館にて開催しました。当日は小・中・高等学校合わせて約300名参加がありました。事務局説明の後「使える英語プロジェクト事業における小中連携とは」と題し、関西外国語大学 中嶋 洋一 教授にご講演いただきました。

☆ 「聞きたい・話したい」を作り出すには ☆

講演では、インフォメーションギャップを用いたグループ学習を行い、「なぜグループ学習を行うのか」、「なぜ資料を読む時間を短めに設定するのか」など、子どもが一生懸命読みたい・伝えたいという意欲を引き出す仕掛けについて解説していただきました。受講された先生方がその過程を実際に体験することにより、理解を深めることができました。



☆ 小・中・高 学習指導要領のつながり ☆

次に、小学校から中学校、高等学校までの学習指導要領からキーワードを確認し、どのようにつなげていくのかについてお話していただきました。高等学校における「的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力」を高めるために、中学校段階では「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を使って英語が使えるようにすることが求められ、中学校で4技能をできるようにするために、小学校では英語の音声や表現に体験的に慣れ親しむことを通し、コミュニケーション能力の素地を育成することが求められています。

このように、学習指導要領の目標においては小・中・高が連続しており、教師もそれを意識して指導することが必要です。具体的なアイデアの例として、中学校教科書の題材と小学校での題材を結びつけることや、小学校の教材を中学校でも活用するなどお話していただきました。

☆ 相手や場面を意識したコミュニケーション ☆

相手や場面を意識した活動がどれくらい重要なのかについて、Do you have a pen? を例にお話いただきま

した。その問いに対する答えは Yes, I do. / No, I don't.だと教えていると子どもにコミュニケーション能力はつきません。相手がポケットを探りながら Do you have a pen?と聞いているのに、ニコニコしながら Yes, I do.と答えるだけでは、相手が本当に伝えたいこと＝「ペンを貸してほしい」が理解できていないことになり、それではコミュニケーションは成立しないからです。

また、言葉の力を育むためには、あらゆる教育活動において、子どもの「知りたい」「伝えたい」という意欲を引き出し、コミュニケーション能力を育成することが大切だとお話いただきました。



☆ 教師が学ぶ目的とは ☆

講演の最後に、中嶋研究室のゼミ生が作成した教材映像を鑑賞しました。飛行機内での危機的困難な状況に立ち向かう人々を描いた内容で、家族や大切な人を思うとき、人は全力を尽くすことができるというメッセージを感じ取りました。

私たちにとっても、本来の目的である「どのような子どもに育てたいのか」「子どもにどのような力をつけたいのか」について再考し、授業をよりよいものにしていくことについて考える機会になったと思います。

「使える英語プロジェクト」公開授業について

使える英語プロジェクト実践研究校における公開授業が6月より始まっています。下記、大阪府教育委員会小中学校課HPサイトから、公開授業の情報を提供していますので、3年目の成果を共有する機会として、ぜひご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/erueigo/index.html>

■「使える英語プロジェクト」ホームページ

「使える英語プロジェクト事業」における小中学校のすぐれた実践プログラムや教材、また先生から児童生徒まで役に立つ資料や学習教材が揃った英語教育の総合サイト

ここをクリック → [「使える英語プロジェクト」ホームページ\(外部サイト\)](#)

■「使える英語プロジェクト」(最新情報)

メールマガジン 実践研究校の取り組みを中心に、府内の小学校外国語活動や中学校の英語教育の取組みを紹介しています。

第19号 [PDFファイル/5038号](#) 6月29日 「英語を使うにわっ子」育成プログラム2

公開授業 (←ここをクリックください) 実践研究校の公開授業について紹介しています。

*平成24年度の公開授業についての資料は上記「使える英語プロジェクト」ホームページ(外部サイト)をご覧ください。

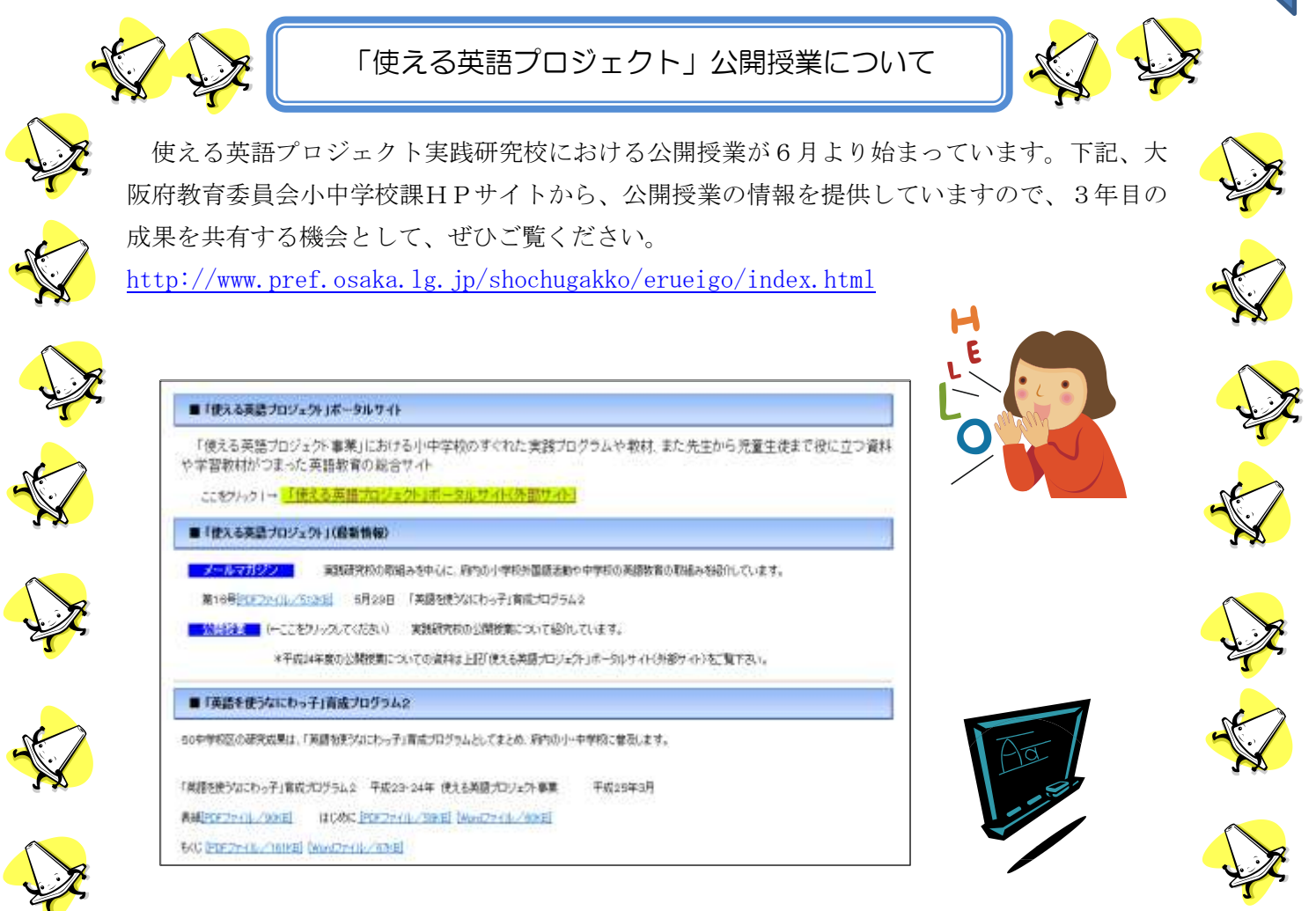
■「英語を使うにわっ子」育成プログラム2

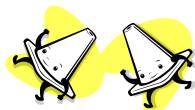
30中学校区の研究成果は、「英語を使うにわっ子」育成プログラムとしてまとめ、府内の小中学校に普及します。

「英語を使うにわっ子」育成プログラム2 平成23-24年「使える英語プロジェクト」事業 平成25年3月

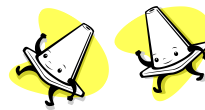
詳細 [PDFファイル/500号](#) はじめに [PDFファイル/502号](#) [Wordファイル/499号](#)

めんこ [PDFファイル/4918号](#) [Wordファイル/4918号](#)





平成24年度 質問紙調査の結果について



おなじく、「使える英語プロジェクト」ポータルサイトにて、平成25年2～3月に実施しました質問紙調査の結果を掲載しております。



<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/erueigo/puro.html>



小学校においては、英語に対する興味・関心や学習意欲は、文部科学省が実施した全国的な調査との比較において、小学校5年生、6年生ともに概ね良好な結果となっています。



中学校においては、英語に対する興味・関心や学習意欲は、国立教育政策研究所が実施した全国的な調査との比較において、中学校1年生、2年生、3年生ともに概ね良好な結果となっています。



「新学習指導要領に対応した外国語活動及び外国語科の授業実践事例映像資料3」について

文部科学省は、“Hi, friends!”を有効に活用して外国語活動を行う上で役に立つ映像資料3（DVD）を作成しました。“Hi, friends!” Lesson7 We are good friends.の実践事例を取り上げています。

現在、文部科学省ホームページに概要が掲載されています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1337166.htm

なお、DVDは6月下旬に各市町村に送付しております。

編集後記

新聞などで報道されているとおり、内閣総理大臣が主催する教育再生実行会議において、グローバル人材育成の観点から、小学校で英語を教科化などの提言がまとめられました。現代社会は情報化やグローバル化が進み、国と国との壁が低くなっています。子どもたちには、世界にはばたくことや、グローバルな視点をもって地域社会を担うこと、そして、そこで出会う人たちとつながるという未来を描ける授業をしていきたいですね。